



世界一剣道教室開催

高鍋進選手に技と心を学ぶ

平成二十六年二月九日(日)
於 福井県立武道館

第 83 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 岩崎 貞夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

世界トップレベルの選手を講師に招き、その技と心を学ぼうと、福井県剣道連盟主催の「世界一剣道教室」が今年も開催されました。

六回目となる今回は、平成二十二年、二十三年の全日本剣道選手権大会で史上二人目の二連覇を達成し、平成二十四年の世界剣道選手権大会イタリア大会で個人・団体優勝を果たした高鍋進先生(神奈川県警・錬士七段)を、平成二十三年度に引き続き、講師にお招きしました。

今回は、中学生から大学生が対象でしたが、今回は県内の小学四年生から六年生とその指導者約三〇〇名が参加し、世界一速い面を打つと言われる高鍋先生から一つでも多くのことを学ぼうと、皆熱心に臨んでいました。

開会式には、県教育委員会の林教育長も来賓として出席され、「剣道はもちろん、様々なことに目を向け、取り組んでほしい」と激励の言葉をいただきました。

午前中は、素振りから始まり、基本稽古を行いました。切り返し、面打ち、小手打ち、小手↓面打ち、出ばな面、出ばな小手など、基本技から応用技まで、ひとつひとつ丁寧な指導を交えながらポイントをご指導いただきました。

「難しい技でもイメージを持って

やる。やろうと思うことが大事」
「練習だから失敗しても構わない」と、やさしく、非常にわかりやすい語り口で説明いただき、子どもたちも真剣に高鍋先生の話に聞き入っていました。

高鍋先生がお話しされたポイントをいくつかご紹介します。

〈素振り〉

- ・振りかぶりと振りおろしを同じスピードでなく、振りおろしを早くする。
- ・振りおろしを早くすれば、左足の引きつけも自然と早くなる。

〈切り返し〉

- ・早くなくてもよいから、残心までしっかりと打つこと。

〈面打ち〉

- ・物打ちでしっかりと打つ。打った後はすぐ構える。
- ・間合いの入り方が大事。相手に悟られないように間合いに入る。
- ・打つぎりぎりまで、構えを崩さない。
- ・前傾姿勢になったり、沈んだりせず、我慢する。
- ・竹刀の打ち方は、相手の面金をこするようには打つのではなく、上か

ら面ぶとんをしつかり打つ。

〈小手打ち〉

- ・最初は大きくしつかり打つ。
- ・だんだん小さく打つように練習するが、打つ強さは変わらない。
- ・手打ちにならないよう、足で打つ。
- ・面打ちと同じようにしつかり踏み込む。右足をしつかり踏み込めば、左足もついてくる。

〈小手↓面打ち〉

- ・小手も面も、どちらも上から一〇〇パーセントの力でしつかり打つ。
- ・ゆっくりでいいから、確実に打つ。

〈出ばな面〉

- ・元立ちが大事。面打ちの練習のもりで、本気で打つ。
- ・元立ちの時に気を抜いていたら、一時間稽古をしても、三十分しかやっていないのと同じ。そこで差がつく。
- ・元立ちが本気で打つから打ちづらい。それを打てるように練習する。

〈出ばな小手〉

- ・待たないこと。攻める気持ちで、相手が少しでも動いたら打つぞ、という気持ちでいる。
- ・少しでも相手が来ると思ったら打つ。打った後、面を打たれないよ

うにする。

お昼休みの時間を利用して、グループごとに先生と記念撮影。

午後は、高鍋先生や指導者の先生方が元立って、地稽古を行いました。子どもたちは、気合十分に元気よく、高鍋先生と稽古を行いました。

参加者からは、次のような感想が寄せられ、それぞれに明日への意欲や上達のきっかけをつかんだ「世界一剣道教室」となりました。

「面がすごく速かった」

(朝日少年剣道クラブ 青山くん)

「話がわかりやすかった」

(みはま少年剣道クラブ 森下くん)

「間合いの入り方が参考になった」

(福井東部少年剣道教室 宮本さん)

「面がきれいに打てるようになった」

(福井養正館 田崎くん)

「面の打ち方など知らない話が聞けてよかった」

(王子保スポーツ少年団 堂前くん)

「どつづければ面が早く打てるか参考になった」

(今庄剣道スポーツ少年団 赤星くん)

「応じ技がためになった」

(丸岡剣道スポーツ少年団 浅野くん)

【高鍋 進先生 略歴】

昭和五十一年八月十六日生
熊本県熊本市出身
PL学園高校、筑波大学卒
神奈川県警所属 錬士七段

○主な戦績

- ・全日本剣道選手権大会
第五十八回(平成二十二年)、五十九回(平成二十三年)大会優勝
- ・世界剣道選手権大会
団体優勝三回(平成十五年、イギリス、平成二十一年、ブラジル、平成二十四年 イタリア) 個人優勝一回(平成二十四年 イタリア)
- ・全国警察剣道選手権大会
個人優勝三回(平成十七、二十一、二十二年)



《高鍋先生への質問タイム》

Q プレッシャーに弱いのですが、どうしたらよいですか?
A 相手がどうかより、まず自分に勝つことが大事です。

Q 心が折れそうになったときはどうしますか?
A 皆さんくらいのときに、剣道がいやになったことがあります。

ライバルをつくれれば、くじけそうなきもがんばれると思います。

Q 普段、家でやっているトレーニングはありますか?
A 練習をするときと、しないときのメリハリをつけています。やるときには、集中力をもってやります。

Q 普段から心がけていることは?
A 自分の弱い気持ちに負けないようにすることです。

Q 試合前に心がけていることは?
A 夜更かしをしないこと。普段と違うことはしないことです。

大会報告行事報告

県下高校冬季剣道選手権大会

平成二十六年一月十九日(日)

於 福井県立武道館

男子団体の部

優勝 啓新高校

監督 松永 毅

選手 村上 幹

上口 慶二

村上 巧

大越 和貴

梅田 和希

高地 就星

菅原 一喜



二位 敦賀高校
三位 福井高校
三位 丸岡高校

女子団体の部

優勝 敦賀高校

監督 岩谷 治彦

選手 鈴木香菜子

上田 里美

刀根 亜希

木村 顕子

光原 智晶

桃井 優

田中 優美



二位 北陸高校
三位 美方高校
三位 福井高校

福井県中学校冬季剣道強化錬成大会

強化錬成大会

平成二十六年一月二十五日(土)

於 敦賀市栗野スポーツセンター

参加校 男子36校・女子36校

結果は次の通り。

(男子団体の部)

準々決勝

中央中

鯖江中

武六中

明道中

中央中

鯖江中

中央中

鯖江中

明道中

武六中

丸岡中

至民中

武一中

2-0

1-0

4-0

2-1

2-1

3-0

4-0

3-0

2-0

2-0

2-0

男子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
中央中	上村周	加藤	堀江	三田村	上村哲
	⊗ド	×	⊗メ	×	×
鯖江中	北島	藤田	城田	小嶋	前田

女子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
中央中	吉田	嶋川	富田	片岡	加藤
	⊗	×	⊗メ	⊗コ	×
松陵中	山川	梅野	吉田	前田	堤腰

準々決勝 (女子団体の部)

中央中 5-0 森田中
松陵中 3-0 坂井中
松島中 3-2 鯖江中
藤島中 1-0 明倫中
三方中 3-1 藤島中
中央中 2-1 松島中
松陵中 2-1 三方中



第二十一回北信越高等学校 剣道新人大会

平成二十六年二月一日(土)～二日(日)
於 砺波市庄川体育センター

男子団体予選リーグ	
Bブロック	福井 1ー0 南砺福野
	福井 1引き分け 1 羽咋
Cブロック	藤島 4ー0 高岡
	藤島 1ー3 新潟第一
Fブロック	高志 1引き分け 1 新潟明訓
	高志 2ー0 富山工業
Gブロック	北陸 1ー2 高岡工芸
	北陸 2ー1 松代
男子団体決勝トーナメント	
高志 1ー4 星稜	
女子団体予選リーグ	
Aブロック	敦賀気比 0ー4 富山北部
	敦賀気比 0ー1 分水
Bブロック	美方 0ー1 金沢
	美方 1ー0 佐久長聖
Dブロック	敦賀 0ー2 長野商業

敦賀 2ー1 南砺福野	
Fブロック	福井 4ー1 富山
	福井 1引き分け 1 羽咋
Hブロック	北陸 0ー1 星稜
	北陸 3ー0 新潟中央
女子団体決勝トーナメント	
福井 1ー1 新潟商業(本教負け)	

第8回 福井県ジュニア育成 強化剣道大会

平成二十六年二月二日(日)
於 福井県立武道館
県内の少年剣道教室45団体から個人戦372名が参加しました。

○一年生の部	
優勝 寺前 主流	(木田剣道スポーツ少年団)
第二位 山川陽太郎	(福井養正館)
第三位 廣部 祥大	(江守の里少年剣道教室)
第三位 青木 優花	(立待スポーツ少年団剣道教室)
○二年生の部	
優勝 森 陽輝	(鯖江剣道スポーツ少年団)



第二位 守 大翔	(鯖江剣道スポーツ少年団)
第三位 三船胡太郎	(五常館)
第三位 伊藤 朋哉	(王子保スポーツ少年団剣道部)



○三年生の部	
優勝 崎元 蓮太	(福井養正館)
第二位 柏崎 雅己	(鯖江志士樹館道場)
第三位 山本 凌大	(武道学園剣道教室)
第三位 松田 智樹	(粟野剣道教室)
○四年生男子の部	
優勝 森 恵誠	(鯖江剣道スポーツ少年団)
第二位 大和 泰雅	(福井養正館)
第三位 植村 啓吾	(木田剣道スポーツ少年団)
第三位 奥村 龍也	(向笠剣道スポーツ少年団)



○四年生女子の部
 優勝 木村真理子
 (今庄剣道スポーツ少年団)
 第二位 宇野 光咲
 (松岡剣道教室)
 第三位 網田 恭子
 (南条剣道スポーツ少年団)
 第三位 前田 凜
 (武道学園剣道教室)



○五年生男子の部
 優勝 中村翔太郎
 (鯖江志士樹館道場)
 第二位 三原 碧月
 (織田剣道スポーツ少年団)
 第三位 寺前 寛一
 (木田剣道スポーツ少年団)
 第三位 岡田佳志彦
 (木田剣道スポーツ少年団)



○五年生女子の部
 優勝 大矢ひかる
 (福井養正館)
 第二位 南元 優那
 (向笠剣道スポーツ少年団)
 第三位 八本木萌心
 (朝日少年剣道クラブ)
 第三位 遊津 可菜
 (福井養正館)



○六年生男子の部
 優勝 田崎 健斗
 (福井養正館)
 第二位 酒井 勇輔
 (木田剣道スポーツ少年団)
 第三位 山本賢一朗
 (福井少年剣道クラブ)
 第三位 志尾 陽章
 (三国少年剣道教室)



○六年生女子の部
 優勝 奥村 莉菜(福井養正館)
 第二位 竹田こころ
 (粟野剣道教室)
 第三位 三浦 瑳丸
 (武道学園剣道教室)
 第三位 高村 怜那
 (福井少年剣道クラブ)



平成二十六年度に開催される各種大会の県内予選会・選手選考会が開催され、各部門の一位が代表選手として選出されました。

第62回全日本都道府県対剣道優勝大会

福井県予選会

平成二十六年一月二十六(日)

於 県立武道館



- 先鋒(高校生) 馬淵 貴大(敦賀高)
- 次鋒(大学生) 小出 鷹太(福井工大)
- 五将(一般35歳未満) 脇本 一誠(福井刑務所)
- 中堅(教職員) 久保田広行(丹南高教)
- 三将(警察官) 長谷川峻右(福井県警)

- 副将(一般35歳以上) 畑 祐一郎(福井新聞)
- 大将(50歳以上教士七段) 堀江 範雄(福井県警)

第69回国民体育大会(長崎国体)

第二次選手選考会

平成二十六年三月二十三(日)

於 県立武道館

- 成年男子の部
- 先鋒(25歳未満) 金子 亮介(福井県警)
- 次鋒(25歳以上35歳未満) 前田 浩由(福井県警)
- 中堅(35歳以上45歳未満) 畑 祐一郎(福井新聞)
- 副将(45歳以上55歳未満) 柳原潤一郎(丸岡中教)
- 大将(55歳以上) 西川 謙(足羽高教)



- 成年女子の部
- 先鋒(30歳未満) 細川 梨絵(日体大職)

- 中堅(30歳以上40歳未満) 山田 聖子(福工大附属福井高教)
- 大将(40歳以上) 森 宜子(森齒科医院)

第6回全日本都道府県対抗女子剣道大会

福井県予選会

平成二十六年三月二十三(日)

於 県立武道館



- 次鋒(大学生) 北川 藍(福井工大)
- 中堅(35歳未満) 山田 聖子(福工大附属福井高教)
- 副将(35歳以上45歳未満) 森 宜子(森齒科医院)
- 大将(45歳以上) 道内由佳里(金井学園)

※先鋒の部(高校生)はインターハイ予選の結果を基に選出されます。

第23回全国高等学校剣道選抜大会

平成二十六年三月二十七日・二十八日

於 愛知県春日井市総合体育館

男子団体 予選リーグ

啓新 1-2 愛工大名電(愛知県)

0-2 津山工業(岡山県)

女子団体 予選リーグ

敦賀 1-1 日章学園(宮崎県)

0-3 磐城(福島県)

男女とも予選リーグ敗退。





第29回北陸三県少年剣道錬成大会 成 績 表

平成26年 3 月 2 日(日)
於 福井県立武道館

小学生高学年の部

	団 体 名	県 名
最優秀賞	鯖江志士樹館道場 A	福井県
優 秀 賞	福井養正館 A	福井県
優 良 賞	石川県立武道館 A	石川県
優 良 賞	富山武道館剣道教室 A	富山県

小学生低学年の部

	団 体 名	県 名
最優秀賞	新化館 A	石川県
優 秀 賞	新化館 B	石川県
優 良 賞	宝達志水町武道館 A	石川県
優 良 賞	羽咋市武道館 A	石川県



中学生の部

	団 体 名	県 名
最優秀賞	鯖江志士樹館道場	福井県
優 秀 賞	凌雲館村雲道場	富山県
優 良 賞	富山武道館剣道教室	富山県
優 良 賞	敦賀市剣道スポーツ少年団 A	福井県

傘下会員は、大飯郡内外より小・中・高校生の剣友会員、また一般の地区剣道連盟員としています。道場訓としては、発足時より道場旗にも染め抜いてある様に三戒（守破離）の言葉を胸に、基本稽古を中心に行っています。稽古は主に地区剣道連盟理事長・猿渡和義教士と入江彰伸先生の指導のもと、県内外の大会にも積極的に参加しています。年間の行事は、六月に兵庫県・京都府・福井県の小・中学生、また高校生・一般女子が参加する北近畿少年剣道大会・小堀杯争奪剣道大会、また十二月上旬に県内外より六段以上の先生方の参加を頂き、大飯地区剣道連盟は、昭和五十三年に高浜町剣道スポーツ少年団剣道教室として発足し、平成三年四月より高浜少年剣友会に改名した。また寺本先生・鳥居先生・猿渡先生を指導者として、平成三年四月に高浜町剣道連盟も同時に発足し、若狭地区剣道連盟に入会しましたが、平成二十三年に大飯地区剣道連盟として独立し、現在に至っています。

大飯地区剣道連盟

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

上の先生方の参加を頂き、大飯地区剣道錬成大会を行っています。会員一同、更に盛り上げていきたいと思えますので、今後ともご指導、ご鞭撻を宜しくお願いします。

活動場所 高浜 B & G 体育館

活動日 水・土曜日

十八時三十分～二十一時



勝山市剣道スポーツ少年団

勝山市剣道スポーツ少年団は、十年ほど前に指導員の若返りをはかり、現在では市剣道連盟の三十代～四十

代が指導の中心となり活動しています。小学生二十名・中学生三名の合計二十三名の団員が日々の稽古に励んでいます。稽古は、週三回(月・水・金)実施しており、月・金曜日は中・上級者及び中学生、水曜日は初級者の稽古日となっています。

「明鏡止水」の道場訓のもと、ゆるぎない精神の向上を大事にし、日々、心・技・体の向上に努めています。入門当初は、挨拶や返事のできなかつた子供達も、剣道を通じて成長し、たくましくなっていく様は、見ていてたいへん喜ばしく感じます。また、OB・父兄等の積極的なご支援により、団員全員が一体感を持って活動できています。

これからも、剣道も素晴らしさを伝えるためにも、さらに団員の勧誘を積極的に行い、時に優しく、時に厳しく指導を行い、指導員・団員・父兄が一致団結し、勝山の剣道を盛り上げていきたいと思えます。若輩者の指導員ばかりですので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願いいたします。

稽古日

月・金曜日 午後七時～午後九時

中・上級者、中学生(中学生は、

金曜日十時まで稽古)

水曜日 午後七時～午後八時

初級者(夏休み期間は、上級者が午後九時まで稽古)
稽古場所
月曜日 勝山市営体育館
水・金曜日 勝山市武道場

指導者

小倉武士 竹原康裕 平田光男

小倉 晃 方堂千鶴

事務局

竹原康裕

勝山市郡町一―三―三

電話 〇七七九―八七―三四三六

(文責 小倉 武士)



吉川スポーツ少年団剣道部

吉川スポーツ少年団剣道部は、小学生四人中学生四人の計八名で、水金土の週四回、一時間半から二時間程度稽古しています。

吉川の稽古では、「全力でやる」というのが基本方針です。そのため、切り返しや面打ち四本などの一つの稽古が終わると、肩で息をしたり、息づかいが荒くなったりする子が多いです。逆に、力を押さえた稽古をすると、指導者から檄がとびます。また団旗には「不撓不屈」の文字が書かれており、どんな困難にもくじけずがんばってほしい、剣道を通して一人の立派な人間になってほしいという、指導者と保護者の思いが込められています。



められています。現在、少人数での稽古となっておりますが、県大会で一位二位を争う子どもたちが少しずつ出てきています。勝敗だけでなくこだわることなく、一緒に泣いたり笑ったりする仲間や、応援してくれる保護者、稽古をつけてくれる先輩方に感謝できる子どもに成長していただくと願っています。

武生第一中学校剣道部

武生第一中学校は越前市の中心市街地にあり、西・東・大虫・吉野小学校の四校の児童たちが集まる市内最大規模の中学校です。全校生徒は七〇〇名近く。部活動も盛んで、運動部・文化部を合わせて十六の部が毎日、活動しています。

剣道部は現在、男子九名、女子二名の十一名で稽古に励んでいます。学校ではなかなか充分な稽古場所が確保できないため、火曜・土曜まで近くの越前市武道館まで足を運んでいます。雪のひどい日などは移動が大変ですが、それも稽古の一つと考え、頑張っています。稽古は毎日、足さばきから始まります。基本的な動きから実戦的な動きまで、素振りも加えながら、毎日欠かさず行っています。初心者も多いチームですが、基本を大切にすることを第一に

芦原中学校剣道部

芦原中学校剣道部は、男子14名、女子6名、合計20名で活動しています。

心がけています。試合では勝ったり負けたりですが、みんな剣道が好きです。卒業していった先輩たちもほとんどが高校へ行っても、剣道を続けていらっしやいます。大会の応援の来てくれたり、稽古に顔を出してくれたり、本当にうれしいです。先輩たちが残された北信越や県大会での輝かしい成績も、もちろん目標ですが、まずは自分の人間性を鍛えるために、これからも頑張っていきたいと思います。



す。活動場所は、芦原中学校正面にある、あわら市武道館です。昨年、大規模な改修工事により、床の張り直しなどを含め、ほとんど新築と言っているほど新しく生まれ変わりました。この新しい道場で、冬季平日は1時間強、夏季平日は2時間程度、土曜日は3時間半の稽古を行っています。部員は、中学校から剣道を始めたものばかりで、芦原剣道連盟の先生方にご協力をいただいて、毎日、基本的なことから一步一步学んで行っているところです。冬期間は、活動時間が短く、基本技の稽古や打ち込み稽古などで時間が無くなってしまうのですが、土曜日を利用して、技を覚えたり、技に磨きをかけたりして

三国高等学校剣道部

います。最初はなかなか声も出ず、動きもぎこちないものが多くいましたが、少しずつ剣道の動きを覚え、最近では熱のこもった稽古ができるようになってきました。また、剣道の楽しさを知り、技の奥深さを知ること、剣道が好きになる生徒も増えてきました。これからは「剣心」の旗の下、一生懸命剣道に取り組もうと思えます。

三国高等学校剣道部は現在、男子四名、女子三名の計七名で活動しています。地元三国町や坂井地区の剣道連盟の先生方に支えて頂きながら日々稽古に励んでいます。部員の数は少ないですが、一人ひとりが目標を持って剣道に打ち込んでおり、稽古では切り返しと追い込み、打ち込みを大切にし、スピードとパワーを身につけることができるよう努力を重ねています。また、決まったメニューだけではなく、それぞれの課題に自ら考えて取り組む時間も設けています。中学校時代はあまり活躍できなかった生徒達も、高校で切り返しや基本打ちを積み重ねることで三年生になる頃にはしっかりと打ちができる



るようになります。続けることの大切さを感じながら、卒業まで、また卒業後も剣道が続けて欲しいと願って指導にあたっています。最後になりますが、これからも三国高校剣道部を支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、精進を重ねていきたいと思えますので御指導の程宜しくお願い致します。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十六年二月十一日(日)

於 越前市武道館

「初段」 五十五名

- 一条 祐太 (森田中一年)
- 石川 雄海 (春江中一年)
- 小野 弘人 (東陽中一年)
- 増田 翔翔 (鯖江中一年)
- 佐々木 遥翔 (中央中一年)
- 渡邊 裕亮 (武生中一年)
- 岩田 佳憲 (至民中一年)
- 福田 基喜 (東陽中一年)
- 谷下 尚弥 (武生中一年)
- 長谷川 功樹 (永平寺中一年)
- 水上 敦貴 (武生六中一年)
- 鈴木 龍牙 (今庄中一年)
- 三田村 寛 (中央中一年)
- 竹野 龍之介 (武生中一年)
- 内田 龍之介 (坂井中一年)
- 朝山 偉亮 (森田中一年)
- 荒崎 千アゴ (武生中一年)
- 笠原 哉汰 (武生中一年)
- 飯田 佳裕 (池田中一年)
- 廣部 泰介 (坂井中一年)
- 本多 倫也 (菅原中一年)
- 田中 颯人 (池田中一年)
- 片山 羅人 (菅原中一年)
- 市原 一輝 (鯖江中一年)

- 木村 光一 (武生中一年)
- 山崎 由晏 (至民中一年)
- 見澤 篤 (菅原中一年)
- 堀 慎平 (鯖江中一年)
- 高木 良平 (専門学校一年)
- 長谷川 侑香 (清水中一年)
- 久保田 菜月 (松陵中一年)
- 久保田 早恵 (三方中一年)
- 小倉 和泉 (勝山南部一年)
- 堤腰 琴菜 (松陵中一年)
- 小堀 妃奈 (足羽中一年)
- 小堀 萌々 (足羽中一年)
- 池田 二千花 (三方中一年)
- 貢 步枝奈 (今庄中一年)
- 田辺 有羽 (三方中一年)
- 松田 愛実 (松陵中一年)
- 板倉 楓都 (松岡中一年)
- 久保 渚 (三方中一年)
- 佐々木 杏子 (坂井中一年)
- 徳 沙恵 (武生中一年)
- 辻 新優 (坂井中一年)
- 吉田 梓 (松陵中一年)
- 小寺 ほか (坂井中一年)
- 梅野 葉月 (松陵中一年)
- 加藤 七海 (武生中一年)
- 前田 光里 (松陵中一年)
- 富田 葉月 (中央中一年)
- 刀根 亜希 (敦賀高一年)
- 上田 里美 (敦賀高一年)
- 栗原 満美 (美方高一年)
- 川端 祥能 (仁愛大一年)

「貳段」 二十名

- 赤星 克範 (今庄中一年)
- 長谷川 諄 (春江中一年)
- 清水 陽太 (明道中一年)
- 坂東 優心 (至民中一年)
- 小林 正侑 (丸岡中一年)
- 早川 惠理 (明道中一年)
- 貢 駿登 (今庄中一年)
- 刀根 航介 (松陵中一年)
- 齋藤 怜史 (金津中一年)
- 吉村 和紀 (三方中一年)
- 田中 大地 (松陵中一年)
- 吉 寄月海 (鯖江中一年)
- 丹羽 杏菜 (明倫中一年)
- 西澤 朱音 (鯖江中一年)
- 前田 咲 (光陽中一年)
- 佐々木 まどか (鯖江中一年)
- 加藤 菜摘子 (中央中一年)
- 小河 萌香 (越前中一年)
- 塚田 えみり (啓新高一年)
- 藤田 典乃 (啓新高一年)

「参段」 十一名

- 河原 悠真 (敦賀高一年)
- 裕本 侑也 (藤島高一年)
- 西村 英明 (美方高三年)
- 吉村 祐紀 (美方高三年)
- 幸道 健吾 (福井大一年)
- 小林 大夏 (県立大一年)
- 坂本 菜子 (美方高一年)
- 藤本 奈々 (北陸高一年)
- 岡田 真由香 (北陸高一年)

「四段」 二名

- 河端 撰 (税理士)
- 鳴崎 さおり (公務員)

「五段」 二名

- 谷口 竜哉 (公務員)
- 渡邊 文夫 (会社員)



福井国体特別協力資金納入者名簿

(平成26年3月31日現在)

平成25年度から平成28年度の4年間にわたり、ご支援をお願いすることとなりました「平成30年第73回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力資金」について、ご協力いただいた方は次のとおりです。趣旨にご賛同いただき、厚くお礼申し上げます。引き続き、福井国体の実施に向けて格別のご高配とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

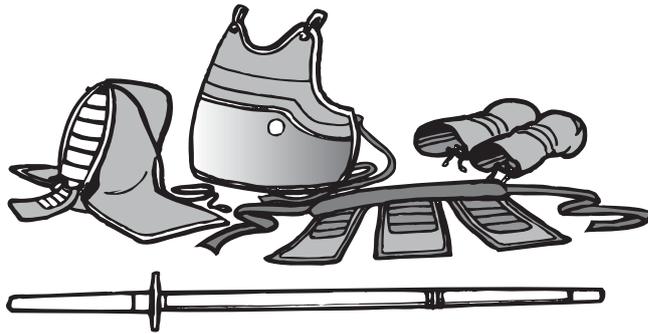
小堀善信	小堀清佳	小島甚作	久保田広英	窪田英晃	婦山正信	木村直茂	北林直樹	河嶋洋衛	河越洋輔	上山昭章	神園健信	金巻三喜夫	金森茂森	加藤康宏	奥村直也	岡田直三郎	小畑素夫	大畑保高	梅原吉弘	上野善和	岩崎貞夫	岩崎駿介	今村仁志	今井恭男	井上直哉	市村直哉	五十嵐美妃	赤尾陽子	○三段以下 一一一名	(段位別 順不同)
(三方)	(三方)	(福井)	(敦賀)	(南条)	(大野)	(福井)	(坂井)	(越前)	(福井)	(敦賀)	(勝山)	(大野)	(福井)	(三方)	(越前)	(鯖江)	(三方)	(越前)	(越前)	(南条)	(南条)	(坂井)	(坂井)	(三方)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	

西南井淳	南部幹男	奈良俊幸	名子朋宏	中野芳樹	中西由貴	中西正人	中谷実伸	中川健一郎	豊島菜摘	徳本英基	土谷秀靖	辻本美代子	民谷秀夫	田中恒夫	田中隆佳	竹村和樹	武内忠男	竹内薫	高森政義	高橋和人	高木良平	高木勝彦	城野優生	白崎一衛	島田奈美	佐々木広美	佐々木克己	佐々川祐代	佐久間浩彰	崎元雄紀	小村学
(坂井)	(福井)	(越前)	(敦賀)	(越前)	(三方)	(坂井)	(坂井)	(大飯)	(坂井)	(鯖江)	(福井)	(越前)	(越前)	(坂井)	(敦賀)	(南条)	(福井)	(鯖江)	(福井)	(鯖江)	(越前)	(南条)	(越前)	(丹生)	(福井)	(大野)	(福井)	(坂井)	(敦賀)	(三方)	(坂井)

源上善浄	水上陽介	水裕也	三浦泰弘	三浦幸亮	牧野宏祐	前田実希	前川誠里	前川亜佳明	堀川耕平	堀川晴菜	細田伊都子	細川真弓	古川清澄	古河公代	藤本利美	藤井浩之	福嶋大晃	福尾俊博	吹屋憲明	廣野祐祐	平松克敏	平田隆幸	平島奈緒美	花島常善	長谷川翔平	橋本修一	橋本一峰	橋詰由希	野川多美子	西川泰平
(越前)	(南条)	(南条)	(福井)	(坂井)	(坂井)	(南条)	(勝山)	(三方)	(丹生)	(坂井)	(坂井)	(越前)	(大野)	(鯖江)	(三方)	(勝山)	(坂井)	(福井)	(大野)	(福井)	(鯖江)	(福井)	(坂井)	(越前)	(越前)	(越前)	(越前)	(三方)	(越前)	(南条)

鎌田真之	金子亮介	片山外一	岡田明美	大味香代子	大野邦夫	梅野秀一	稲葉尚嗣	伊藤心平	伊藤藍子	泉田茂	石倉良澄	○四段 五四名	脇本康誠	吉村勝三	吉川文行	吉岡四郎一	山本武寛	山本航平	山本興治	山下博士	山崎義尚	山口陽子	山岸隆昭	安久弥兵衛	安川聡浩	森川晃嗣	百田知行	向井嘉夫
(越前)	(福井)	(福井)	(福井)	(坂井)	(三方)	(丹生)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(敦賀)	(大野)		(坂井)	(三方)	(坂井)	(越前)	(南条)	(福井)	(三方)	(越前)	(大野)	(坂井)	(鯖江)	(越前)	(大野)	(坂井)	(三方)	(福井)

宮川保則(越前) 宮川透(坂井) 松本敏夫(越前) 松井昇平(福井) 松井喜代治(福井) 前田穂積(南条) 前田純夫(坂井) 堀江範雄(坂井) 船田久三郎(福井) 藤岡文男(越前) 福嶋俊栄(坂井) 半田隆三(坂井) 林茂夫(福井) 西川讓(南条) 南部明雄(福井) 中西泰平(三方) 内藤嘉昭(越前) 豊福安治(坂井) 栃本正道(福井) 堤腰一昭(敦賀) 堤腰昭(敦賀) 田中一憲(福井) 田口五十二(鯖江) 高野治重(坂井) 高倉和則(坂井) 惣次勇(福井) 関博之(越前) 鈴木周一(福井) 紺屋嶋三津男(坂井) 小原正豊(福井) 小西清光(三方) 小辻省一(福井)



柳澤峰生(福井) 柳原潤一郎(福井) 山本英俊(福井) 吉川忠良(坂井) 米納智弥(坂井) 相模利朗(福井) 〇八段一名 〇団体 若狭地区剣道連盟

ペンリレー

女性剣士の部屋

「息子と一緒に剣道がしたい。」
それが私の長年の夢でしたので、
長男の小学校入学を待つようにし
て、迷わず一緒に教室に通い始め
ました。
しかし、家族みんなで剣道”
という夢はそんなに簡単なもので
はありませんでした。
高校で剣道の指導をしている主人
は、
「やればええやん。自分もがんばっ
て四段目指したらいいやん？」
と理解はあるのですが、帰りは遅
く協力は望めません。仕事が終わっ
てから夕飯を作り、子供たちに食
べさせ、まとわりつく次男を母に
預けて稽古に向かうのはなかなか
楽ではなく、行くので精一杯でし
た。次男も小学生になり、一緒に
稽古出来るようになった頃、よう
やく色々なことを考える余裕が出
てきました。

私は、教室では三年生までの子
供たちを担当しています。防具を
着けず、すり足や素振りが中心で、
大人は大切とわかっていても、子
供たちにとっては面白くない練習
ばかりが続きます。「どうしたら
夢中にさせられるのだろうか？」
「剣道も野球やサッカーみたいに
面白くできないだろうか？」と、
新しい練習方法を模索して失敗し、
また考えて…。あつというまに一
年が過ぎ、また新しい一年が始ま
ります。一緒に教室に通い始めた
長男は、昨年中学生になりました。
元福井県剣道連盟会長の故小堀
源治郎先生のお言葉に、「父母の
恩、師の恩、社会の恩、勝ちて知
る仲間の恩」という言葉がありま
す。私のようなおばさんでも楽し
く剣道をさせてもらえるという恵
まれた環境、家族みんなが元気で
稽古に参加出来ることに日々感謝
し、自分
の出来る
ことで恩
返しが
出来れば
思ってい
ます。



江戸 啓 恵

